

業務連絡

2019年9月9日
JR東海労新幹線関西地本
編集 業務部 No.1

2019年8月29日、支社会議室において「申」第37号について、組合側幹事と会社側幹事による業務委員会開催に向けた事前の打ち合わせを行いました。会社は、業務委員会を拒否しました。

JR東海労幹関西地「申」第37号
2019年6月6日

「台検試運転での大量の台車交換」に関する申し入れ

5月29日、大阪台車検査車両所で行われたX75編成の1ブロック台検試運転後の手直しにおいて、GKの油に濁りがあるとの申告で5台車の交換が発生した。

さらに、同編成2ブロックの試運転においても7台車が同様の理由により交換が必要となっている。伝え聞くところによると、台検で高速回転試験を行った輪軸のGKオイルに濁りが発生し、オイルの鉄粉濃度が高いためと言われている。

今回のように、台検後の台車が大量に交換されたことはこの間なく、今回の事態は異常と言わざるをえない。

以下は協議の主なやり取りです。

1. 今回の大量の台車交換に至った経緯について明らかにすること。

【会社回答】

台交試運転後の床下点検でGK油の変色が見つかり、鉄分濃度が基準値以上となったため台車交換を行った。

2. 交換台車以外には異常がないのか明らかにすること。

【会社回答】

GK油に変色はなく、異常はない。

3. 高速回転試験の方法に変更があったのか明らかにすること。

【会社回答】

変更はない。

4. X75編成に異常が集中した理由を明らかにすること。

【会社回答】

X75編成は通常通りの検修を実施しており、集中したのは偶然だと考えている。

5. 鉄粉濃度が上がった理由を明らかにすること。

【会社回答】

軸受がわずかに摩耗し、これにより鉄分濃度が上昇したと考えられる。

6. 台検終了台車の鉄粉濃度は、すべて測定しているのか明らかにすること。

【会社回答】

全ては実施していない。

7. X75 編成以前の台検出場編成の GK 油に異常がないのか明らかにすること。

【会社回答】

異常はない。

8. 全般検查出場編成には、異常が無いのか明らかにすること。

【会社回答】

異常はない。

9. 鉄粉濃度は、いつから測定しているのか明らかにすること。

【会社回答】

従前より油が変色しているなど異常が認められた場合に測定している。

10. 今回の原因と今後の対策について、明らかにすること

【会社回答】

原因は、歯車装置の検修に使用する研磨剤の一部がGK内部に入り込んだことだと考えており、対策として、これを低減させるような検修方法に変更する。

11. 台車の回復にあたっては、十分な要員を確保し、社員に負担をかけないこと。

【会社回答】

要員は適切に配置している。ただし突発的な事象に対しては波動業務が発生することをご理解願いたい。

以上